

市川市土のうステーション



広尾防災公園

市川市は、低地を中心に市街化が進んできたため、雨水が地面に浸透せず、多量かつ短時間に水路や川に流れ出し、いわゆる**都市型水害**が頻発してきました。千葉県や市民とともに総合的な治水対策に取り組んできた結果、過去に比べると浸水被害は減ってきました。しかし、**排水施設的能力を超えるような局地的な豪雨**が頻発するなか、**全てを施設整備で対応するのは困難**です。避けられない自然災害に対して**被害を最小限にとどめるため「自ら備える」**取り組みを支援するため、平成25年台風26号の被害を契機に**土のうステーション**を設置しましたのでご活用下さい。

利用ルール

- ・台風直撃が予測されると土のうステーションを開放します
※開放状況・利用時間は、市役所にお問い合わせ下さい(334-1111)
- ・多くの人にご利用いただくため、原則、**一世帯20袋まで**とさせていただきます
- ・**返却は不可**です。備蓄をお勧めします(一袋あたり約1,000円の経費がかかっています)

土のうの積み方

※ブルーシートがあれば、より効果的です



①ブルーシートを用意する



②ブルーシートの上に土のうを並べる



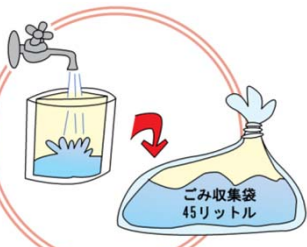
③道路側から建物側へ包む



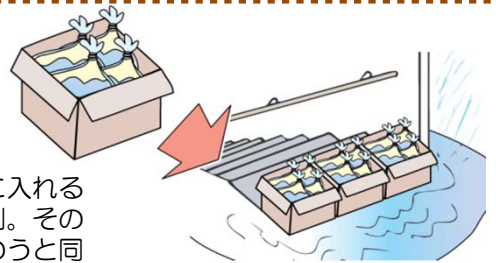
④完成

簡易水のうの作り方

①45リットル程度の容量のごみ袋を二重にし、中に半程度の水を入れる。(持ち運べる程度)



②ダンボール等に入れると持ち運びに便利。そのまま並べれば土のうと同じ役割になります。



(参照: 杉並区洪水ハザードマップ)

北部: 大柏川第一調節池



中部: 大洲防災公園



南部: 広尾防災公園

